

平成30年度
事業報告書

I 会議等に関する事項

1. 幹事会・運営委員会・監査会

開催日	会議名	会場	主な内容
平成 30 年 5 月 29 日	第 212 回 幹事会	埼玉教育会館	・平成 29 年度事業報告並びに決算報告の承認に関する件
平成 30 年 11 月 29 日	第 213 回 幹事会	埼玉教育会館	・平成 30 年度上半期事業報告並びに決算報告の承認に関する件
平成 31 年 3 月 18 日	第 214 回 幹事会	埼玉教育会館	・平成 30 年度補正予算案の承認に関する件 ・平成 31 年度事業計画案並びに収支予算案の承認に関する件 ・運営委員の選出に関する件
平成 30 年 5 月 25 日	第 122 回 運営委員会	埼玉教育会館	・平成 29 年度事業報告並びに決算報告に関する件
平成 30 年 11 月 26 日	第 123 回 運営委員会	埼玉教育会館	・平成 30 年度上半期事業報告並びに決算報告に関する件
平成 31 年 3 月 12 日	第 124 回 運営委員会	埼玉教育会館	・平成 30 年度補正予算案に関する件 ・平成 31 年度事業計画案並びに収支予算案に関する件 ・幹事・監査の選任に関する件
平成 30 年 5 月 16 日	監査会	埼玉教育会館	・平成 29 年度事業報告並びに決算報告
平成 30 年 10 月 25 日	監査会	埼玉教育会館	・平成 30 年度上半期事業報告並びに決算報告

2. 教育振興事業選考委員会

奨学金の貸与・給付及び研究・実践活動への助成等教育振興事業の適正な執行を図るため、委員会において、必要な事項について審査・選考を行いました。

資料 1 「平成 30 年度 教育振興事業選考委員会」

開催日	会議名	会場	主な内容
平成 30 年 5 月 8 日	第 1 回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	平成 30 年度上期奨学金貸与者の審査・選考
平成 30 年 6 月 25 日	第 2 回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	平成 30 年度教育振興事業及び教育文化事業の審査・選考
平成 30 年 7 月 25 日	第 3 回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	平成 30 年度高校生の奨学金給付事業の審査・選考
平成 31 年 3 月 15 日	第 4 回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	平成 30 年度下期奨学金貸与者の審査・選考 平成 30 年度高校生及び中学生奨学金給付事業の審査・選考

II 奨学事業

1. 貸与事業

大学等に在学している者への奨学資金として100万円を限度に無利息で貸与し、卒業後5年間の年賦で返還する奨学事業を、下記の通り行いました。

審査の結果、貸付申請のあった適格者全員に貸与いたしました。

この事業は、24年度より本部事業として行っておりますので、決算書には記載しておりません。

(1) 奨学生の状況

		前年度末貸付	当年度貸付	当年度返還	年度末貸付者
平成30年度	人数	430名	36名	完済96名	370名
	金額	259,617,219円	31,800,000円	51,734,746円	239,682,473円
平成29年度	人数	436名	43名	完済49名	430名
	金額	265,543,381円	36,750,000円	42,676,162円	259,617,219円

(2) 奨学生の学校種別状況

年度	平成30年度		平成29年度	
	人数	金額	人数	金額
大学等	35名	31,300,000円	42名	36,250,000円
短大等	1名	500,000円	1名	500,000円

2. 給付事業

本県に所在する国公立高等学校等・中学校に在学する生徒で、原則として以下の(1)・(2)・(3)に該当する者に、選考のうえ返還を要しない奨学金を給付しました。

(1) 保護者が①死亡等により、両方または片方がおらず、または、②病気（交通事故等による怪我も含む）で就労が難しく、①、②のいずれかのため、公的支援等を受けているが、生活困窮のために修学への意欲があるにもかかわらず、修学継続が困難となっている高等学校第2、3学年（定時制・通信制については相当学年）の生徒のうち校長から推薦のあった者を対象に審査・選考のうえ各10万円を給付しました。特別支援学校にあっては、上記の条件に準ずる者としてしました。

年度	平成30年度	平成29年度
人数	85名	85名
金額	8,500,000円	8,500,000円

(2) 保護者が①死亡等により、両方または片方がおらず、または、②病気（交通事故等による怪我も含む）で就労が難しく、①、②のいずれかのため公的支援等を受けているが、修学意欲が旺盛で、更に上級学校（国公立大学・短期大学・専修学校専門課程）へ進学する成績優秀な（評定平均値3.8以上）高等学校第3学年（定時制・通信制については相当学年）の生徒のうち、校長から推薦のあった者を対象に審査・選考のうえ各20万円を給付しました。特別支援学校にあっては、上記の条件に準ずる者としてしました。

年 度	平成 30 年度	平成 29 年度
人 数	90 名	76 名
金 額	18,000,000 円	15,200,000 円

(3) 本県に所在する国公立中学校に在学し、①保護者が死亡等により、両方または片方がおらず、または、②病気（交通事故等による怪我も含む）で就労が難しく、①、②いずれかのため、生活が困窮している家庭の子どもで、修学の意欲が旺盛で、高等学校等へ進学する生徒のうち、校長から推薦のあった者を対象に審査・選考のうえ各 5 万円を給付しました。

年 度	平成 30 年度	平成 29 年度
人 数	313 名	285 名
金 額	15,650,000 円	14,250,000 円

Ⅲ 教育研究助成事業

1. 教育実践報告への助成

(1) 募集と審査

- ① 平成 30 年 4 月 1 日付け文書及び会報・ポスターによる広報
- ② 資料 2「平成 30 年度 教育実践報告審査委員」

開催日	会議名	会場	主な内容
平成 30 年 9 月 14 日	第 1 回教育実践報告審査委員会	埼玉教育会館	平成 30 年度教育実践報告審査及び選考方法について
平成 30 年 10 月 24 日	第 2 回教育実践報告審査委員会	埼玉教育会館	平成 30 年度教育実践報告審査・選考
平成 30 年 11 月 27 日	教育実践報告・表彰式	埼玉県県民健康センター	平成 30 年度教育実践報告受賞者表彰式

(2) 応募状況

学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合 計
部門						
個人・グループ	26	9	3	9	1	48
学 校	6	1	0	0	0	7
合 計	32	10	3	9	1	55

2. 学校研究への助成

助成状況

学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
年度							
平成 30 年度	532	266	20	11	10	839 校	3,411 万円
平成 29 年度	565	255	33	9	9	871 校	4,059 万円

3. 環境教育支援事業(H28年度より自然体験活動支援事業と統合)

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
平成30年度	401	135	8	1	10	555校	1,741万円
平成29年度	409	128	12	3	11	563校	1,859万円

4. 国際理解教育支援事業

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
平成30年度	59	20	28	0	0	107校	336万円
平成29年度	50	21	23	0	0	94校	338万円

5. キャリア教育支援事業

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
平成30年度	29	74	19	7	0	129校	406万円
平成29年度	32	70	17	12	0	131校	465万円

6. 防災教育支援事業

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
平成30年度	67	42	7	3	1	120校	385万円
平成29年度	64	34	6	2	0	106校	369万円

7. ICT活用教育支援事業

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
平成30年度	80	21	10	9	0	120校	391万円
平成29年度	67	25	6	6	0	104校	350万円

8. 「学び合い・高め合い」支援事業(平成29年度新規)

助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
平成30年度	347	178	13	6	0	544校	1,682万円
平成29年度	255	129	5	6	0	395校	1,297万円

9. 研究・実践成果報告集7の刊行

教育研究助成支援事業の助成対象校(学校研究・環境教育・国際理解・キャリア教育・防災教育・ICT活用教育・「学び合い・高め合い」支援)の優れた研究・実践をまとめ、学校・教育機関に配布し、教育の振興に寄与しました。

10. 交通安全教育への助成

増加する交通事故等により、生徒の死亡・ケガも増えています。交通安全教育の推進に貢献するため、「弘済会埼玉交通安全推進会」へ10万円の助成を行いました。

11. 新設校への助成

平成30年度新設校、川島町立つばさ南小学校、川島町立つばさ北小学校、川口市立高等学校に記念品を贈呈しました。

12. 連合教育研究団体等への助成

- (1) 埼玉県連合教育研究会等所属22団体へ研究助成金総額355万円を助成しました。
- (2) 埼玉県高等学校連合教育研究会等所属25団体へ研究助成金総額400万円を助成しました。

13. 全国・関東ブロック研究大会等への助成

助成状況

平成30年度	5団体	57万円
平成29年度	10団体	101万円

14. 教育関係団体への助成

下記の27団体に、総額640万円の助成を行いました。

No.	団 体 名	No.	団 体 名
1	埼玉県公立小学校校長会	15	埼玉県高等学校定時制通信制校長会
2	埼玉県中学校長会	16	埼玉県高等学校定時制通信制副校長・教頭会
3	埼玉県高等学校長協会	17	埼玉県事務主幹・事務主査会
4	埼玉県公立小中学校教頭会	18	埼玉県公立小中学校事務職員研究協議会
5	埼玉県高等学校副校長・教頭会	19	埼玉県養護教諭会
6	埼玉県公立高等学校事務職員会	20	埼玉県学校保健主事会
7	埼玉県公立小・中学校女性校長会	21	埼玉県特別支援学級等設置校校長会
8	埼玉県公立小・中学校女性教頭会	22	埼玉県学校栄養士研究会
9	埼玉県特別支援学校校長会	23	埼玉県高等学校等女性管理職の会
10	埼玉県公立学校事務長会	24	埼玉教職員組合
11	さいたま市中学校長会	25	埼玉高等学校教職員組合
12	埼玉県特別支援学校副校長・教頭会	26	さいたま教育文化研究所
13	埼玉県教職員組合	27	埼玉県国公立幼稚園・こども園長会
14	埼玉県高等学校教職員組合		

15. 教育研究助成金贈呈式・教育講演会の開催

教育研究助成の趣旨の徹底と教育文化の発展に寄与するため、教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会を県教育委員会及びさいたま市教育委員会の後援を得て開催しました。

- 期 日 平成30年10月12日（金）
- 会 場 さいたま市文化センター大ホール
- 講演題 「理を貫くドイツ 情を知る日本～スポーツ世界を眺め渡す～」
- 講 師 法政大学スポーツ健康学部教授(元NHKアナウンサー・解説委員)
山本 浩 氏

16. 公益財団法人日本教育公務員弘済会の「教育賞」募集に協力し、研究実践論文 3 編を推薦しました。なお、1 編が「優秀賞」に入賞しました。
17. 公益財団法人東京海上日動教育振興基金の教育研究論文募集に協力しました。

IV 教育文化事業

1. 生涯学習実践作文の募集

- (1) 募集と審査
- ① 募集案内を県内教育機関等に送付。また、様々な機会に募集を周知。
 - ② 資料 3 「平成 30 年度 生涯学習実践作文審査委員」
- (2) 応募 50 点

開催日	会議名	会場	主な内容
平成 30 年 9 月 7 日	第 1 回生涯学習実践作文審査委員会	埼玉教育会館	平成 30 年度生涯学習実践作文審査及び選考方法について
平成 30 年 10 月 22 日	第 2 回生涯学習実践作文審査委員会	埼玉教育会館	平成 30 年度生涯学習実践作文審査・選考
平成 30 年 11 月 27 日	生涯学習実践作文表彰式	埼玉県県民健康センター	平 30 年度生涯学習実践作文受賞者表彰

2. 教育文化講演会(地域教育研究会主催)に対する助成

平成 30 年度	16 団体	183 万円
平成 29 年度	9 団体	117 万円

3. 教育文化事業への助成(H29 年度新規事業 弘済会埼玉支部 PRESENTS ハートフルコンサートを含む)

平成 30 年度	38 団体	659 万円
平成 29 年度	37 団体	631 万円

4. 教弘文庫の刊行と配布

平成 29 年度募集した「教育実践報告」「生涯学習実践作文」から優れた実践報告・作文並びに地域教育研究会等が実施した「教育文化講演会」の講演要旨を集録した教弘文庫を刊行し、各学校・教育機関等へ贈呈いたしました。

	刊行部数	刊行日
教弘文庫 104 「教育実践報告集 49 」	2,200 部	4 月 20 日
教弘文庫 105 「教育文化講演集 34 」	5,000 部	4 月 20 日
教弘文庫 106 「生涯学習実践作文集 28」 私の生き方～ともに支え合う実践～	19,000 部	4 月 20 日

V 福祉事業

1. 福利厚生

(1) 厚生施設の利用状況

施設名	30年	29年	増減	施設名	30年	29年	増減
熱海ホテル	0	0	0	箱根強羅	11	8	3
伊豆山	8	6	2	日本橋	0	2	△ 2
一碧湖	34	19	15	名古屋	0	1	△ 1
中伊豆	10	6	4	博 多	0	0	0
房総白浜	81	38	43	大阪梅田	0	0	0
裏磐梯	0	0	0	那須塩原	104	19	85
猪苗代	52	28	24	ホテル蔵王	0	0	0
浜名湖	6	0	6	淡路島	0	0	0
草津温泉	23	40	△ 17	◎ 東急旧軽井沢	66	68	△ 2
軽井沢	51	43	8	◎ 東急蓼科	68	52	16
信州塩嶺	7	0	7	◎ 東急那須	202	158	44
琵琶湖	0	0	0	◎ 東急伊東	70	62	8
鳴 子	15	9	6	◎ 東急裏磐梯	51	50	1
伊勢鳥羽	8	0	8	東急斑尾	-	42	△ 42
南紀白浜	2	0	2	グリーンバレーハゲ岳	20	17	△ 3
米子皆生	0	0	0				
江ノ島	5	0	5	合 計	897	668	229
ホテル箱根強羅	3	-	3				

※ 平成30年度は夏季休業中、◎印5施設85室を借り切り、教職員の利用に供しました。

(2) 協定宿泊施設等の活用と補助

協定旅館・民宿等の拡充をはかり、その利用を促進するため、次の施設と協定して事業を行いました。

① 旅館・ホテル利用人数

県名	名称	平成30年度			平成29年度		
		本人	家族	合計	本人	家族	合計
福島	ホテルうお昭	4	0	4	7	0	7
	ホテル飛天	0	0	0	0	0	0
栃木	柏 屋	9	0	9	14	3	17
	明 賀 屋	2	0	2	7	0	7
群馬	松 本 楼	22	26	48	21	3	24
	栄 泉 閣	0	0	0	4	0	4
	ホ テ ル 聚 楽	23	15	38	46	14	60
	妙義グリーンホテル	93	28	121	158	27	185
新潟	高 半 ホ テ ル	6	3	9	10	0	10
	グリーンピア津南	16	11	27	21	2	23
	吉 野 屋	0	0	0	3	1	4
長野	荻 原 館	4	1	5	6	0	6
茨城	磯原シーサイドホテル	8	4	12	6	4	10
	(小 計)	187	88	275	303	54	357

② 民宿・ペンション利用人数

県名	年度 名称	平成 30 年度			平成 29 年度		
		本人	家族	合計	本人	家族	合計
埼玉	は ま だ	15	4	19	23	4	27
	ご か ば し	0	0	0	6	0	6
	宮 本 荘	8	2	10	8	1	9
群馬	ツツミスクエア	0	0	0	2	0	2
新潟	た き も と	8	8	16	10	5	15
	で ん き 屋	19	3	22	34	0	34
長野	ラディッシュガーデン	2	0	2	1	2	3
	コ ン パ ス	13	1	14	0	0	0
	び ー 坊	3	1	4	15	0	15
	リ ス の 森	0	0	0	0	0	0
	G R O V E	0	0	0	13	0	13
千葉	千 倉 民 宿	1	0	1	6	2	8
(小 計)		69	19	88	118	14	132
日教弘指定施設		129	40	169	202	41	243
オ ー ト キ ャ ンプ 場		28	43	71	29	52	81
総 合 計		413	190	603	652	161	813

③ 補助人数

	補助金額	平成 30 年度	平成 29 年度
教弘保険加入者	3,000 円	399 名	262 名
損保単独加入者	3,000 円	6 名	84 名
教弘・損保併用者	6,000 円	8 名	306 名
合 計		413 名	652 名

2. 教職員の生涯福祉の推進

- (1) 校長会代表と弘済会との「教職員の生涯福祉を考える教育懇談会」を開催しました。
内容は、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の当面する課題について、課題提起と意見交換を行いました。その後、長江清和氏を講師に迎え「インクルーシブ教育システム構築の理念を踏まえた特別支援教育の在り方」の演題で1時間半の講演会を開催しました。

- 期 日 平成 30 年 7 月 23 日 (月)
- 会 場 埼玉教育会館 2 階会議室
- 参 加 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の校長
- 協 議 当面する課題について、課題提起と意見交換
- 演 題 インクルーシブ教育システム構築の理念を踏まえた特別支援教育の在り方
- 講 師 埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター
教職大学院教授 長江 清和氏

3. 祝品・記念品の贈呈

(1) 教弘保険継続加入者への記念品贈呈

5年・10年・15年・20年・25年・30年継続の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

人数	5年	10年	15年	20年	25年	30年	合計
30年度	1,155名	826名	325名	258名	452名	308名	3,324名
29年度	1,207名	788名	142名	300名	523名	425名	3,385名

(2) 友の会入会記念品の贈呈

退職後も教弘保険を継続された方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

年度	平成30年度	平成29年度
人数	1,170名	1,228名

(3) 結婚祝品の贈呈

結婚された教弘保険加入者の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

年度	平成30年度	平成29年度
人数	568名	621名

(4) 出産祝品の贈呈

お子様が誕生された教弘保険加入者の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

年度	平成30年度	平成29年度
人数	799名	820名

(5) スポーツ観戦チケットの贈呈

現職の教弘保険加入者(教弘保険10口以上)に浦和レッズ(Jリーグ)公式試合観戦チケット(SS席を各試合1ペア分)と埼玉西武ライオンズ(プロ野球)公式戦チケット引換券を申込抽選により贈呈しました。

(Jリーグ)

申込人数294人の内17名に贈呈

(プロ野球)

申込人数76人の内30名に贈呈

4. 健康保持増進

(1) 人間ドック、脳ドック、婦人科検診受診者に対する補助

① 現職の教弘保険加入者

公立学校共済組合等で実施する人間ドック・婦人科検診または脳ドックを受診した方にはその1種類について、個人負担金の一部を基準により補助しました。

補助人数

年度 金額	平成 30 年度	平成 29 年度
	人 数	人 数
5,000 円	4,445 名	4,779 名
3,000 円	1,916 名	1,955 名
2,000 円	104 名	112 名
その他	225 名	213 名
合 計	6,690 名	7,059 名

② 退職した教弘保険加入者(友の会会員)

友の会会員で生活習慣病予防巡回健診の補助を受けていない方が、共済組合指定病院等で人間ドックまたは脳ドックを受診したときに、1 回に限り 5,000 円の補助を行いました。

補助人数

年 度	平成 30 年度	平成 29 年度
人 数	2,318 名	2,076 名

(2) 生活習慣病予防巡回健康診断の実施及び補助

退職後も教弘保険を継続している方々の成人病予防のため、県下 14 会場において健康診断を実施し、受診者には 5,000 円の補助を行いました。

補助人数

年 度	平成 30 年度	平成 29 年度
人 数	894 名	918 名

(3) 大腸がん予防検診の実施

退職後も教弘保険を継続している方々とその家族を対象に、一般財団法人日本健康増進財団の検診案内を送付し、520 人が受診しました。(協定料金 2,800 円)

(4) ウオーキング(歩け歩け)運動への参加支援

当支部が埼玉県ウオーキング協会の賛助会員となり、教職員の歩け歩け運動への参加による健康づくりを支援しました。

5. 弘済会埼玉友の会の活動

(1) 組織

退職後も教弘保険を継続している方々で組織し、本部と支部が一体となって活動をすすめました。

平成 31 年 4 月現在、14 支部、834 班、(世話人 737 人)、会員 14,701 人です。

なお、準会員は 298 人です。

(2) 運営

全県世話人会、幹事会、常任幹事会、支部総会等を次の通り計画的に行いました。

支部組織の運営充実のため、14 支部へ運営費助成金として、2,639,320 円、支部総会助

成金として、980,000円、このほか助成金として、2,599,624円、クラブ活動助成金として、140,000円の助成を行いました。

(3) 会議の開催

開催日		会議名	会場
平成30年	5月17日	全県世話人会	大宮ソニックシティ
平成30年	7月20日	幹事会	埼玉教育会館
平成31年	1月24日	常任幹事会	埼玉教育会館
平成30年	6月7日	北足立南支部総会	ジブラルタ生命川口営業所
	6月5日	北足立中支部総会	埼玉教育会館
	6月2日	大宮支部総会	さいたま市立大宮図書館
	6月1日	北足立北支部総会	北本市文化センター
	6月9日	入間東支部総会	クラッセ川越
	6月6日	入間西支部総会	飯能市富士見地区行政センター
	6月4日	比企支部総会	東松山市松山市民活動センター
	5月25日	秩父支部総会	秩父市福祉女性会館
	6月2日	児玉支部総会	本庄市民文化会館
	6月3日	大里東支部総会	熊谷市立江南総合文化会館
	5月19日	大里西支部総会	深谷市男女共同参画推進センター
	6月6日	北埼玉支部総会	ワークヒルズ羽生
	6月7日	埼玉南支部総会	春日部市民文化会館
6月6日	埼玉北支部総会	久喜市鷲宮東コミュニティセンター	

(4) 事業・活動

- ① 福利厚生事業を中心に、友の会会員のための福祉活動を行いました。
- ② 弘済会埼玉友の会だよりNO61号、NO62号を発行し、広報活動をすすめました。

6. 教弘保険加入者への弔慰

死亡された教弘保険加入者176名の方へ、生花またはご香料を贈るとともに弔電により弔慰を表しました。

7. ツヴァイとの提携

当支部はツヴァイと法人契約を結んでいます。教弘保険加入者及びその家族が入会するときに一般価格より54,000円割引となります。

平成30年度末現在691名の方が入会され、295の方が結婚されました。

当支部には加入者の性別・年代のみ通知されることとなっており、加入者のプライバシーは厳重に守られております。

8. 損害保険事業

教職員にとって必要かつ有意義な補償である下記保険の販売に努めました。

- ・教弘まなびやスーパープラン
- ・教職員収入ロングウェイサポート
- ・教弘フルガード

9. 共済事業(提携保険事業)

教弘保険の普及拡大が、教育の振興及び教育関係者の福祉向上に多大な貢献をしていることを踏まえ、その加入促進に努めます。

なお業務は、提携保険会社及び株式会社埼玉教弘に委託しています。

VI 参事の活動

15名の参事が地区を分担し、弘済会の諸事業を説明し、弘済会及びその事業に対する教職員の理解と支持を得るとともに、ジブラルタ生命との協力体制を確立するため、学校や地区校長会等において事業説明会を実施しました。また教弘担当営業職員(LC)の活動しやすい環境づくりに向けて努力を続けてきました。

学校での事業説明会は501回、校長会等では179回、延べ680回の説明・広報活動を行いました。

月1回参事打合せを行い、弘済会事業の周知・学校の状況・ジブラルタ生命の現況、教弘拡大等について協議・研修しました。

VII 広報活動

弘済会事業の周知徹底を図り、教弘保険加入者の拡大をすすめるため、多くの教職員が参加し、読んでいただける、生き生きとした紙面づくりに努めました。平成29年度の広報活動は次のとおりです。

1. 編集方針

- (1) 弘済会の事業の発展を目的とする。
- (2) 弘済会の事業内容を幅広く紹介し、教弘保険加入者の拡大を図る。
- (3) 多くの教職員の登場する、生き生きとした編集とする。
- (4) 簡明で、読んでいただける内容になるよう誌面づくりに努める。
- (5) モニターの一層の組織化を進める。

2. 作成広報物

(1) 定例広報誌・紙

①「教弘会報埼玉」 定期号

号数	発行日 (部数)	主 な 内 容
230	平成30年 5月10日 (58,500部)	支部長等挨拶 学校NOW 事業紹介 募集案内 皆様の思いと負託に応えて～「プロモーションビデオ」と「QRコード」～ 川口市立幸町小学校 平成30年度弘済会事業計画 教弘まなびやスーパープラン、新・教弘自動車保険
夏2018 231 (特大号)	平成30年 7月2日 (58,500部)	支部長挨拶 記事 募集案内 夏休み～変わるもの、変わらないもの～ 頑張れ!!給付奨学生 初任(新採用)者等に弘済会の事業を説明 平成30年度新運営委員・参事のご紹介 ビッグなプレゼント、教弘ゴルファー保険
232	平成30年 9月10日 (58,500部)	副支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内 天災と人災 埼玉県立秩父農工科学高等学校 Heart to Heart ありがとう、先生！から 新・教弘自動車保険、教弘まなびやスーパープラン
233	平成30年 10月10日 (58,500部)	支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内 三点で支えろと強い 三者の結束力を高めよう！～「たすけあいの輪」イメージ図～ さいたま市立桜木小学校 紀州鉄道 提携宿泊施設のご案内 クイズ当選者発表、教弘保険の年末調整/生涯生活設計セミナー開催のご案内 新・教弘自動車保険 / 埼玉教弘のお得な住宅紹介

号数	発行日 (部数)	主 な 内 容
234 (特集号)	平成 30 年 11 月 22 日 (58,500 部)	支部長挨拶 学校NOW 記事 事業紹介 募集案内 教育の振興に広く貢献して、必要とされるように！～教育文化事業の展開について～ 小川町立櫛台中学校 平成 30 年度教育研究助成金贈呈式並びに 教育講演会 弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフル コンサート 新・教弘火災保険 / 新・教弘自動車保険
235	平成 31 年 1 月 10 日 (58,500 部)	支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内 慶びに輝く新しい年を迎えて 行田市立東小学校 教育実践報告並びに生涯学習実践作文表彰式 頑張れ!!給付奨学生 平成 31 年度貸与奨学生を募集します
236	平成 31 年 3 月 11 日 (58,500 部)	副支部長挨拶 学校NOW 記事 募集案内 冥利に尽きる 埼玉県立川口高等学校 弘済会埼玉支部 PRESENTS ハートフル コンサート Part II 平成 31 年度「教育実践報告」募集について

※ 目の不自由な教弘保険加入者のため、会報各号について点字版を発行しております。
(各号 10 部)

②「宿泊施設の一覧」	86,000 部発行
③「弘済会事業一覧」	90,000 部発行
④「弘済会教育振興事業」	100 部発行
⑤「弘済会のご案内」	25,000 部発行
⑥「弘済会埼玉友の会だより」No 61	16,400 部発行
「弘済会埼玉友の会だより」No 62	16,200 部発行

資料 1 公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
 平成 29、30 年度 教育振興事業選考委員会委員名簿
 (任期は平成 29、30 年度の 2 年間)

	氏 名	所 属・職 名
委 員 長	山本 和人	東京家政大学学長
副委員長	恩田 徹男	元埼玉県教育局生涯学習部長
委 員	鈴木 光二	元埼玉県公立小学校校長会会長 前埼玉県公立小学校校長会事務局長
委 員	里見 義臣	元埼玉県立進修館高等学校長
委 員	大澤 初枝	元さいたま市立大東小学校長
委 員	赤根 孝子	元埼玉県久喜北陽高等学校事務長
委 員	大磯 宏	埼玉県公立小学校校長会事務局長
委 員	小島 利明	埼玉県中学校長会事務局長
委 員	坂井 順司	埼玉県高等学校長協会事務局長

(順不同・敬称略)

資料 2 平成 30 年度 教育実践報告審査委員会委員名簿

	氏 名	所 属・職 名
委 員 長	薄井 俊二	埼玉大学教育学部長
副委員長	水野 義夫	埼玉県立総合教育センター総合企画長
委 員	小俣 仁司	川越市立中央小学校長 (埼玉県公立小学校校長会副会長)
委 員	落合 啓志	伊奈町立伊奈中学校長 (埼玉県中学校長会副会長)
委 員	益子 篤行	埼玉県立春日部高等学校長 (埼玉県高等学校長協会副会長)
委 員	佐野 貴仁	埼玉県立特別支援学校塙保己一学園学校長 (埼玉県特別支援学校長会副会長)
委 員	水脇 照人	埼玉県教職員組合専門委員
委 員	新島 善弘	埼玉県高等学校教職員組合中央執行委員長

(順不同・敬称略)

資料 3 平成 30 年度 生涯学習実践作文審査委員会委員名簿

	氏 名	所 属・職 名
委 員 長	山本 和人	東京家政大学学長
副委員長	恩田 徹男	元埼玉県教育局生涯学習部長
委 員	山口 善子	元埼玉県立浦和第一女子高等学校長
委 員	大澤 初枝	元さいたま市立大東小学校長
委 員	金子 みゆき	元さいたま市立桜木小学校長
委 員	加藤 聡司	埼玉県 P T A 連合会副会長
委 員	木田 一彦	埼玉県高等学校 P T A 連合会事務局長

(順不同・敬称略)

共済事業（提携保険事業）

教弘保険は教職員の相互扶助を目的に開発された、教職員だけが加入できる保険です。

また、この保険は性別・年齢に関係なく低廉な同一保険料となっており、教職員にとって大変有利な保険です。そして、この教弘保険から生み出される事業資金によって弘済会の諸事業が実施されております。

そこで、教弘保険の普及拡大を図るため、学校での募集活動が円滑にできるよう、環境整備に努めてまいりました。

平成 30 年度の概要は、次のとおりです。

1. 教弘保険の概要

(1) 教弘保険加入者数

	平成 30 年度	平成 29 年度
期首加入者数	38,106 名	38,163 名
新規加入者数	2,244 名	2,261 名
消滅者数	2,328 名	2,318 名
純増者数	△84 名	△57 名
年度末加入者数	38,022 名	38,106 名
純増率	△0.22 %	△0.14 %

(2) 教弘保険口数

	平成 30 年度	平成 29 年度
期首保有口数	613,430 口	614,402 口
新規口数	55,538 口	52,731 口
消滅口数	55,872 口	53,703 口
純増口数	△334 口	△972 口
年度末保有口数	613,096 口	613,430 口
純増率	△0.05 %	△0.2 %
新規目標口数	34,700 口	34,600 口
達成率	160.0 %	152.4 %

(3) 介護付終身・医療 α・米国ドル建個人年金保険件数

	平成 30 年度	平成 29 年度
介護付終身保険(終身保険平成 29 年 4 月から販売停止)	52 件	381 件
医療保険 α (ファミリー含)	1,145 件	1,270 件
米国ドル建個人年金保険(平成 31 年 1 月から販売)	19 件	-

(4) 弔慰金・入院給付金支給状況

		弔慰金		入院給付金		合 計	
		人数	金額	人数	金額	人数	金額
30 年 度	現 職	8	107,292,223	827	159,338,888	835	266,631,111
		1人当	13,411,528	1人当	192,671	1人当	319,319
	退 職	183	897,565,888	841	145,235,230	1,024	1,042,801,118
		1人当	4,904,732	1人当	172,693	1人当	1,018,360
合 計		191名	1,004,858,111	1,668名	304,574,118	1,859名	1,309,432,229
29 年 度	現 職	17	454,114,007	809	159,040,982	826	613,154,989
		1人当	26,712,589	1人当	196,590	1人当	742,318
	退 職	178	940,521,722	746	154,782,874	924	1,095,304,596
		1人当	5,283,830	1人当	207,484	1人当	1,185,395
合 計		195名	1,394,635,729	1,555名	313,823,856	1,750名	1,708,459,585
増減		△2.1%	△27.9%	7.3%	△2.9%	6.2%	△23.4%

2. 共済事業(提携保険事業)推進のための諸施策

(1) 募集環境の整備

① 教育関係機関への協力依頼

年度当初に本部役員・参事が教育事務所等を訪問し、また全県規模の教育関係団体の総会等へ出席して、事業内容を説明し理解と協力を要請しました。

② 事業説明会の開催

事業内容を説明・宣伝し、管理職をはじめ教職員の理解と協力を得るため、地区別の校長会、教頭会、事務職員会及び幼・小・中・高・特別支援の各学校で、参事が事業説明会を行いました。

③ 初任者等研修会での事業説明会

年度当初に開催される県や政令市等の教育委員会主催の初任者等研修会に出席し、弘済会の事業について説明しました。

④ ハートフルコンサートの開催

特別支援学校の児童・生徒を対象に、プロの音楽家による歌や演奏を生で鑑賞する機会を提供する弘済会主催のハートフルコンサートを実施しました。

⑤ 広報活動の推進

「教弘保険」の有利性を理解してもらうため、広報内容の充実を図り、教弘会報、弘済会のご案内、友の会だより等の配布を促進して教職員への周知徹底に努めました。

また、募集用の広報用品を作製し、教弘保険の普及拡大を促進しました。

(2) ジブラルタ生命との連携強化

① 弘済会・支社長との協議会の開催

教弘保険普及拡大のため、支社長(さいたま・熊谷・川越)と定例の協議会を毎月開催しました。

② 所長研修会等の開催

弘済会の諸事業の理解を深め教弘保険の拡大を図るため、所長の全体研修会及び参事との合同研修会を開催しました。

③ ジブラルタ生命指定営業職員(LC)の顕彰会及び研修会の実施

LCの資質向上と、弘済会の諸事業を理解し教弘保険の拡大を図るために、県全体の研修会を実施しました。併せて成績優秀なLC・チーム・営業所の顕彰を行いました。

④ ジブラルタ生命新採用営業職員(LC)への指定職員証交付式の実施

新たに教弘保険の募集活動をする新採用LCへの指定職員証交付式及び研修会を年6回実施しました。